

# 令和3年度社会福祉法人橘風会事業報告

## I. 総括

1. 令和3年度の収支は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、利用控えや施設内感染が発生した事による利用制限などにより、全体で前年度対比99.0%、金額ベースで774万の減収となり、厳しい結果となった。  
ねむの丘では、ユニット型での待機者減少に伴い、一時的に空床が発生した事や入院累計日数が793日から1093日に増加した事により、前年度対比98.5%、金額ベースで468万の減収となった。  
在宅部門においては、ショートステイで空床利用の増加や新規利用者の増加により前年度対比103.1%、金額ベースで252万の増収となり、デイサービスでは、新規利用者の確保は順調であったものの、施設入所や入院等による利用中止者が新規利用者を上回り、上期は大幅な減収を余儀なくされた。下期、利用者獲得が進み利用者数も増加したが上期の遅れを取り戻せず、前年度対比98.1%、金額ベースで319万の減収となった。  
ケアプランセンターは前年並みの利用者数を確保し、前年度対比99.9%となり、ヘルパーステーションにおいては人員体制が整わず、新規利用者の確保が出来なかった事により前年度対比95.0%、前年度対比52万の減収となり、赤字幅が拡大した。
2. 渋川市より払い下げとなる土地の購入を進め、渋川市北橘町八崎2349番地17の土地に関する取得を行った。
3. 以前より故障頻度の高かった熱源設備の交換工事を行い、故障リスクの軽減をはかり安定的な運用が行えるようになった。

## II. 改正事項

1. 定款・規約・規程等の整備
  - 1) 定款
    - ① 社会福祉法人橘風会 定款の一部改正
  - 2) 規約
    - ① 社会福祉法人橘風会 定款施行細則の一部改正
    - ② 社会福祉法人橘風会 育児・介護休業等に関する規則の制定
  - 3) 規程
    - ① 社会福祉法人橘風会 給与規定の一部改正
    - ② 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
    - ③ 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
    - ④ 社会福祉法人橘風会 指定短期入所生活介護事業運営規定の一部改正
    - ⑤ 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護事業運営規定の一部改正
    - ⑥ 社会福祉法人橘風会 居宅介護支援事業所運営規定の一部改正

### Ⅲ. 組 織

#### 1. 役 員 (令和4年3月末日現在)

理事長	内田 章 義					
理 事	鈴木 基 晴 (施設長)	都 丸 宣 彦	丸 橋 正 幸			
	木村 榮 一	村 尾 隆 史	(就任順)			
監 事	今井 兼 則	都 丸 正 隆	(就任順)			
評議員	萩原 吉 行	高 橋 睦 男	小 川 志 道	林 俊 男		
	木 暮 秀 子	宇都宮 京子	諸 田 了 子	(就任順)		

#### 2. 職 員

(1) 橘風会 総数	138名	常 勤	71名 (男31名、女40名)
		非常勤	67名 (男12名、女55名)
(2) 施設長	1名	常 勤	1名 (男 1名)
(3) 総務部	13名	常 勤	4名 (男 3名、女 1名)
		非常勤	9名 (男 6名、女 3名)
部長	1名	常 勤	1名 (男 1名)
総務係	3名	常 勤	3名 (男 2名、女 1名)
用務	2名	非常勤	2名 (男 2名)
管理当直	3名	非常勤	3名 (男 3名)
洗濯・清掃	4名	非常勤	4名 (男 1名、女 3名)
(4) 施設支援部	68名	常 勤	45名 (男21名、女24名)
		非常勤	23名 (男 4名、女19名)
部長	1名	常 勤	1名 (男 1名)
生活支援係	2名	常 勤	2名 (うち、管理栄養士1名)
介護支援専門員	1名	常 勤	1名 (男 1名)
第一介護係	28名	常 勤	16名 (男 8名、女 8名)
		非常勤	12名 (男 3名、女 9名)
第二介護係	36名	常 勤	25名 (男10名、女15名)
		非常勤	11名 (男 1名、女10名)
(5) 医務課	15名	常 勤	8名 (看護師4名、准看護師4名)
		非常勤	7名 (看護師1名、准看護師6名)
医務係	12名	常 勤	6名 (看護師2名、准看護師4名)
		非常勤	6名 (看護師1名、准看護師5名)
機能訓練指導員	3名	常 勤	2名 (看護師2名)
		非常勤	1名 (准看護師1名)
(6) 在宅支援部	41名	常 勤	13名 (男 5名、女 8名)
		非常勤	28名 (男 2名、女26名)
課長	1名	常 勤	1名 (男 1名)
通所介護事業所	26名	常 勤	5名 (男 2名、女 3名)
		非常勤	21名 (男 1名、女20名)
運転手	1名	非常勤	1名 (男 1名)

居宅介護支援事業所 6名 常勤 5名(男 1名、女 4名)  
 非常勤 1名(男 0名、女 1名)  
 訪問介護事業所 5名 非常勤 2名(サービス提供責任者)  
 非常勤 3名(登録ヘルパー)  
 地域包括支援センター 3名 常勤 3名(男 2名、女 1名)

#### IV. 会議 1. 理事会

開催年月日	開催名	議題内容
令和3年 5月29日	第1回理事会	議案第1号 令和2年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録)の認定について [監査報告] 議案第2号 市有財産払い下げに伴う、土地の購入について 議案第3号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について 議案第4号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について 議案第5号 社会福祉法人橘風会 指定短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について 議案第6号 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について 議案第7号 社会福祉法人橘風会 評議員選任・解任委員の選任について 議案第8号 社会福祉法人橘風会 評議員候補者の推薦について 議案第9号 社会福祉法人橘風会 評議員選任・解任委員会の開催について 議案第10号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について
令和3年 6月19日	第2回理事会	議案第11号 社会福祉法人橘風会 理事長の選任について 議案第12号 社会福祉法人橘風会 業務執行理事の選任について
令和3年 7月15日 (書面決議終結日)	第3回理事会 (書面決議)	議案第13号 社会福祉法人橘風会 定款の一部改正について 議案第14号 社会福祉法人橘風会 居宅介護支援事業所運営規定の一部改正について 議案第15号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について
令和4年 3月10日 (書面決議終結日)	第4回理事会 (書面決議)	議案第16号 令和3年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について 議案第17号 令和4年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について 議案第18号 社会福祉法人橘風会 定款施工細則の一部改正について 議案第19号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について 議案第20号 社会福祉法人橘風会 育児・介護休業等に関する規則の制定について 議案第21号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について

#### 2. 監査会

開催年月日	事業内容
令和3年 5月10日	令和3年度 監査会(令和2年度決算監事監査)
令和3年11月19日	平成3年度 上半期会計監査会

### 3. 評議員会

開催年月日	開催名	議題内容
令和3年 6月19日	第1回 評議員会	議案第 1号 令和3年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録）の認定について [監査報告] 議案第 2号 市有財産払い下げに伴う、土地の購入について 議案第 3号 社会福祉法人橘風会 役員の選任について
令和3年 7月26日 (書面決議終結日)	第2回評議員会 (書面決議)	議案第 4号 社会福祉法人橘風会 定款の一部改正について
令和4年 3月19日 (書面決議終結日)	第3回 評議員会 (書面決議)	議案第 5号 令和3年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について 議案第 6号 令和4年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について 議案第 7号 社会福祉法人橘風会 定款施行細則の一部改正について

### 4. 評議員選任・解任委員会

開催年月日	開催名	議題内容
令和3年 6月19日	第1回評議員選任・ 解任委員会	議案第 1号 社会福祉法人橘風会 評議員の選任について

### 5. その他

開催年月日	事業内容
令和3年 5月10日	苦情解決報告会
令和3年 5月12日	第1回家族会総会（書面決議） 苗の植え付け
令和3年 7月26日	第1回入所判定委員会の開催
令和3年 9月13日	第2回入所判定委員会の開催
令和3年 9月20日	第2回家族会 施設内で紅白饅頭作りを行う
令和3年10月27日	第3回入所判定委員会の開催
令和3年11月29日	第4回入所判定委員会の開催
令和3年12月 8日	第3回家族会 餅つき
令和3年12月23日	第5回入所判定委員会の開催

## V. 事業（目標）結果

### 1. 総務部

#### <目標>

- 昨年度目標の外国人介護人材確保は、新型コロナウイルス感染拡大が席卷した1年であり、進展が困難な状況であった為継続目標として人材確保に向け、関係機関と調整を行っていきます。
- 近年多発している自然災害に対して、業務継続計画（BCP）を策定し、自然災害に迅速に対応できるよう、教育や訓練等を実施します。
- 人事考課シートを見直し、行動考課・業績考課を適正に評価するとともに、人事考課評価者の継続的・定期的な教育を実施します。

#### <結果>

- 厚生労働省及び渋川市が行う外国人介護人材確保事業を活用し、助成金対象の指定企業と契約を行い、リモートによる外国人材との面接及び入管に関する書類の作成・提出を行い、入国に向けた最終段階に進捗した。
- 事業継続計画書（BCP）の策定を行い、災害時の基本方針を明確にした。
- 人事考課シートの見直しを行い、評価基準の明確化や平準化が行えた。

#### 法人共通研修

令和3年 4月21日	諸規程・社会人としてのマナー・各処遇改善について
令和3年 5月19日	食中毒とその予防について
令和3年 6月16日	褥瘡の出来る過程とその予防
令和3年 7月21日	認知症について
令和3年 8月18日	不適切なケアと職員のメンタルヘルスについて
令和3年 9月22日	認知症について
令和3年10月20日	高齢者に多い感染症について
令和3年11月17日	新型コロナウイルス感染リスク防止について
令和3年12月15日	リスクマネジメントについて

## 2. 施設支援部

### ねむの丘基本方針

- 親孝行の視点で利用者の心に寄り添うケアを提供します。
- 『ねむの丘ケア方針』に基づいた愛情あるケアを提供します。

### 各部署の目標

#### ① 生活相談員

##### <目標>

ご利用者が望む医療・ケアについて、ご本人ご家族及び多職種で話し合い、人生を彩る支援を提供します。

- 利用者の状態を把握し、必要に応じて医療及びケアについての検討ができ、家族も含めて多職種連携が図れる。
- 季節感のあるイベントや地域に根差した行事に関連した企画を立案し、実施することで、利用者にとって日々の生活の楽しみに繋げていく。日常の様子やイベントでの様子を来所時やブログ等を通して発信して、利用者の日々の様子を知っていただく。

##### <結果>

- ご利用者の状態変化や終末期の兆候を感じ取った際には、多職種と情報共有を行うことで、タイムリーかつ早い段階で家族を交えてのカンファレンスに繋げることができた。
- 地域性や季節に関連した行事を企画実施し、楽しみのある生活を提供できた。ご利用者の様子について、日々の様子をブログへ掲載する等して発信することで施設での生活の様子をご家族へお伝えすることができた。

#### ② 介護支援専門員

##### <目標>

ケアプランの必要性を多職種で理解し、家族との信頼関係を築ける支援を提供します。

- ケアプラン関連様式の記載方法をケアマネ間で勉強会を行い、共有認識のもと、各組でプラン作成ができるように周知を図る。
- 24時間シートを活用し一人ひとりの生活リズムや好みなど合わせたケアについて、ケアマネ間で検討する。
- コロナ禍であっても安全にケース会議等を行えるようにオンライン会議を協議する。

##### <結果>

- ケアマネ間で勉強会を行ったことでアセスメント～モニタリングまでの流れを共有できた。
- 東ユニット3階を中心に24時間シートを活用して利用者一人ひとりの生活を可視化し本人に合わせたケアを実践できた。
- リモートによるケース会議や面会等も検討したが実際は導入には至らなかった。面会室の増設など感染予防策を講じ、ターミナルケア等のケース会議を実施することはできた。

#### ③ 管理栄養士

##### <目標>

摂取状況やニーズを把握し、個々にあった食事を提供することで栄養状態の維持向上を図り、食事が生活の楽しみとなるよう支援します。

- 栄養状態や咀嚼嚥下機能の変化に気付き、予防や改善のための支援ができる。
- 生活の楽しみとなるような食事の提供や季節を通した行事が実施できる。

- より良いものにするために、課題を共有し、改善できる。

<結果>

- 多職種連携し、嚥下機能や栄養状態に合わせて提供する食事を検討できた。
- 外出行事ができない分、施設行事や季節を感じられるようなメニューを献立に取り入れることができた。
- 給食業者と課題を共有し、改善に向けて連携を図った。

**④ 介護係**

**第一係橋組**

<目標>

ご利用者の生活リズムを把握し思いや願いに沿った支援を提供します。

- 本人が望む日課を確認しシートにまとめることができる。
- ケアプランの内容を、申し送りで周知し統一ケアができる。

<結果>

- 望む日課を確認し一日の生活リズムをシートにまとめることができ、本人が望む日課に基づいたケアを提供することができた。
- ケアプランの内容を申し送ることで、職員間で共有することができ、プランに基づいた関わりを記録することで統一したケアに繋がった。

**第一係風組**

<目標>

ご利用者が日々、笑顔で過ごせるように一人ひとりの「楽しみ」を探し、チーム一丸となって楽しい生活を提供します。

- ご利用者に行事やレクリエーションに関する要望を確認し、希望に沿った行事やレクリエーションを実施する。
- 安心して過ごして頂けるように、接遇や認知症ケアについてのポイントを申し送りや会議を活用して周知する。

<結果>

- ご利用者の望みに沿った行事やレクリエーションを計画して実施することができた。また、その時の様子をご家族に向けてブログや面会時に伝えることができた。
- 個別のご利用者の認知症ケアについて考え、その内容を申し送り等で共有することで安心感を与える支援につなげた。

**第二係花組**

<目標>

生活リズムを尊重し個別ケアを展開することで、自分らしく日々を過ごせるよう支援します。

- 起床時間や臥床時間等について本人の希望及び在宅に居た時の様子をご家族に確認し自分らしい日々を送れるよう支援する。
- 業務の効率化を図り余暇時間を増やし、生活歴の情報を活用し笑顔を引き出す援助をする。
- 本人が過ごしたい場所や日頃の習慣を本人やご家族から情報収集し、本人の望む環境を知り、提供することができる。

<結果>

- 毎月対象のご利用者を決めて起床時間や臥床時間等のアセスメントを行い、自己選択・自己決定ができるよう取り組むことができた。食事の提供時間も個別の利用者に合わせて提供することで、本人のペースで生活することができた。
- 会話の中でご家族や生活歴の話に触れることで笑顔を引き出すことができた。余暇時間にはボール投げや壁飾り作りに取り組むことで喜びや楽しみを提供することができた。
- 本人からの情報収集は困難であったが、ご家族の面会時に家での部屋の環境を聞き出すことができた。

## 第二係月組

### <目標>

ご利用者をより深く知り、願いを叶えることで自己肯定感を感じられるケアを提供します。

- ご家族、多職種で連携しながら想いや願いを収集し、実現する。
- 想いや願いを利用者、家族、スタッフで共有し、利用者自身が自己肯定感を感じられるように関わる。

### <結果>

- 日々の関わりの中で収集した利用者の想いや願いをイベントとして実施することで日常生活の中での意思決定支援に繋げることができた。
- イベントや日頃の様子を便りとしてまとめ掲示した。また面会時に家族にも確認してもらうことで、その話題で交流することができた。利用者自身の想いや願いが実現できたという実感から、自己肯定感を感じていただくことができた。

## 第二係宙組

### <目標>

ご利用者ご家族双方の想いを知り家族の絆を大切にすることで、笑顔で過ごして頂けるケアを提供します。

- ご利用者の想い、願い、希望を知る関わりに努め、実現に向けて取り組むことができる。
- 想い、願い、希望の情報を活用した事柄を計画的に実施することができる。

### <結果>

- 各担当を中心にご利用者の想い、願い、希望を知る関わりを実施しご利用者の想いを知ることができた。
- 知り得た情報を活用しご利用者の想いに伴った行事として実施することで、笑顔で過ごすことに繋げることができた。

## 第二係星組

### <目標>

穏やかに生活して頂くために本人の意思を尊重した生活リズムに合わせ、愛情あるケアを提供します。

- 本人の日課、願いや喜びをアセスメントし、24時間シートへ更新する。
- 24時間シートを活用し、本人の意思を尊重した生活リズムに合わせた支援ができる。
- ご家族とご利用者の想いや日々の様子について共有し、ご家族とご利用者がお互いに絆を感じられるような関りができる。

### <結果>

- ご利用者の個々の生活サイクルについて24時間シートへ更新することができたが、願いや喜びについてのアセスメントが不十分であった。
- 24時間シートをもとにご本人の生活サイクルに合わせた支援が提供できた。また、ご利用者の願いを反映した行事を企画実施し、楽しんで頂けた。
- 電話連絡や面会時に、ご家族へご利用者の想いや日々の様子をお伝えして共有できた。また、面会時には日々の様子やイベントで撮った笑顔の写真を見ながら話題にしていた等関りができた。

## 第二係楓組

### <目標>

個々の願いを知り関わることで、幸福感のある生活が送れるよう支援します。

- ご利用者の願いを確認し叶えることで、笑顔で過ごすことができる。
- 日頃の様子を面会時やブログで伝えることで、ご家族との繋がりを作ることができる。

### <結果>

- ご利用者の願いを聞くことができ、行事などを通して叶えることで笑顔を引き出すことができた。

- 写真をブログにあげ、ご家族に日常の様子を伝えることができた。

#### 第二係桜組

##### <目標>

ご利用者とご家族の「想い・願い」を知り、家族とのつながりを感じながら、笑顔で過ごして頂ける支援を提供します。

- ご利用者・ご家族の想いや願いを聞き出す関わりをし、それらの情報から実現できることを考え実施する。
- ご利用者が日々の生活の中で家族とのつながりを感じられる事柄を実施する。
- 感染症対策の周知と環境整備を行う。

##### <結果>

- アンケートの実施や面会時の関りから「想い・願い」を聞くことができ、それらをイベントや日頃の会話に生かすことで笑顔に繋げることができた。
- 面会時の写真や過去のアルバムからご家族との思い出を抜粋し居室に飾ることで、家族との繋がりを感じられる環境が提供できた。
- 感染症について学びご利用者の体調管理を行うことができた。地震対策や衣更え等の環境整備を行うことができた。

#### ⑤ 短期入所生活介護

##### <目標>

ご利用者が楽しく居心地が良いと思える日々を提供します。

- 日々のレクや運動などの実施状況を記録に残し、個々の利用者が楽しめる関わりができる。
- 新規利用者を受け入れる際にリスク面について細かくアセスメントを行い、情報を共有し事故防止に努める。
- 「接遇」や「認知症ケア」について、会議や日々の申し送りを活用し伝えることで、相手の気持ちに寄り添ったケアができるようになる。

##### <結果>

- ご利用者の楽しめたことを記録し職員で共有し個別利用者にあったレクや運動を行うことで日々の楽しみに繋げることができた。
- リスク面について事前のアセスメントを細かく行い、申し送りや業務の中で伝え共有することで、骨折などの重大事故を予防することができた。
- 会議や日々の申し送りでその都度、接遇方法や認知症の方の気持などを伝えたことでケア向上に繋がった。

### 医務課

#### 基本方針

- 本人・家族の代弁者となり自己決定の支援をします。

#### ⑥ 医務係

##### <目標>

ご利用者が最期まで安心して過ごせるよう、全身状態に合わせた支援を提供します。

- 人生会議(ACP)を実践し、希望に沿った看取り支援ができる。
- 平常時から施設内の生活環境を整えることができる。

##### <結果>

- 利用者の状態把握に努め、他職種で協議し人生会議(ACP)を開催することで、本人・家族の希望に沿った支援を提供することができた。
- チェックシートを用いて生活環境を確認し介護職員と連携し環境改善につなげることができた。年度後半は新型コロナ対応もあり実施することができなかった。

#### ⑥ 機能訓練

<目標>

ご利用者の生活に合わせた機能訓練を立案し、実施します。

- 歩行・立位・座位保持等の機能維持ができていないか確認できる。
- 介護職員と連携し、状態変化に応じたプランが作成できる。

<結果>

- 3ヶ月ごとのモニタリングや生活の様子を観察することで身体機能を確認することができた。
- 状態に変化があった際は、介護職員と相談しプランの見直しをすることができた。

## ⑦ 各委員会

### リスクマネジメント委員会

<目標>

リスクへの気づきの意識を高めることで事故を未然に防ぎ、ご利用者の安全な生活環境の整備に努めます。

- 危険予知訓練を実施することでリスク回避能力の向上を図ることができる。
- 事故発生時は速やかに報告書を作成する事で適切な改善策を講じ、類似した事故防止に努めることができる。
- 緊急時訓練を行う事で不安なく落ち着いた対応ができるようになる。

<結果>

- 日常生活に潜むリスクを動画や記録に残して対応や対策を考える事でリスクに気づき、未然に防げるような意識づけを行うことができた。
- 事故発生時は速やかに事故内容を検証し報告書にまとめ周知することで、類似した事故が起こらない対策を周知することができた。
- 新任職員を中心に定期的に緊急時訓練を行うことで焦らずに対応できる能力を向上することができた。

### 資質向上委員会

<目標>

法人理念及び基本方針・ケア方針を浸透させ、方針に沿った支援を提供します。

- 各組の目標達成に向かってケアを行い、年度末に取り組みをまとめ「事例報告会」として発表することで、施設全体で共有しレベルアップに繋げる。
- ケア方針研修を通じて各職員のスキルアップに繋がる。
- 各組の業務を見直し、電子機器による記録方法を検討し業務改善を図る。

<結果>

- 各組、年間を通じて目標に向かってケアを行い、委員会では現状報告を行い、進捗状況を確認できた。年度末の「事例報告会」は新型コロナウイルス感染者発生に伴い中止となってしまった。
- ケア研修のねらいや研修後の報告会を行い、全体で目的意識を持って研修を行うことができ、全体のスキルアップに繋がった。
- 電子機器（iPad）による記録の導入を開始した部署があり、業務改善に繋がった。

### 食事改善・食中毒対策委員会

<目標>

本人の意思を尊重し、摂食嚥下能力を見定めることで、口から食べる楽しみ喜びの継続を支援します。

- 多職種連携により、安全に口から食べられるための支援ができる。
- 看取り期に向けた、食事の支援ができる。
- 食中毒と予防について知識を深める。

<結果>

- 歯科衛生士、言語聴覚士もかかわったことで安全に配慮した食事の支援ができた。
- 本人に合わせた食事内容を検討するとともに、摂食嚥下能力を見定めて、食事を楽しむ支援ができた。
- 委員会と法人共通研修にて、食中毒と予防について知識を深めた。

### 感染症対策委員会

<目標>

利用者が安全に過ごせるよう、感染症対策の徹底に努めます。

- 新型コロナウイルス感染発生時に備えた対策ができる。
- 高齢者に多い感染症や平常時の感染症対策について理解を深める事ができる。

<結果>

- 新型コロナウイルス発生時を想定したマニュアルの改訂やシミュレーションを定期的実施し備えることができた。年度末に実際に発生したことでマニュアルの見直しを図る必要性が認識された。
- 「介護現場における感染対策の手引き」に基づき、標準予防策について伝える事はできたが、徹底には課題が残った。

### 排泄委員会

<目標>

多職種で連携し、腸内環境に配慮した快適な排泄ケアを支援します。

- 排泄物品の適切な利用に向け、個別の利用者の排泄パターンにあわせた物品の見直しを定期的実施する。
- 腸内環境の改善が大切であることを理解し自然排便に向け個別に取り組む。

<結果>

- 個別の排泄状態を確認し排泄物品を見直すことで適正使用に努めた。
- 腸内環境を整えることで自然排便につながることを理解を深め、発酵食品や食物繊維の摂取に取り組み下剤に頼らない排便を促すケアに努めた。

### 身体拘束委員会

<目標>

言葉による拘束の理解を深め、ご利用者の気持ちに寄り添い支援します。

- 利用者の尊厳が尊重され、安心して生活できるように身体拘束への理解と周知ができる。
- 人権擁護に対して理解を深め、指針を作成できる。
- 施設内研修を通して身体拘束について理解を深めることができる。

<結果>

- 身体拘束に関するポスターの更新と、施設内研修で利用者の尊厳保持や身体拘束へつながる不適切なケアについて職員へ周知をすることができた。
- 高齢者虐待防止指針を作成できた。
- 施設内研修を通して、身体拘束や虐待に繋がる不適切なケアと職員のメンタルヘルスについて理解を深めることができた。

### 褥瘡委員会

<目標>

適切な物品管理を行うことで褥瘡を予防するケアを提供します。

- 個別の褥瘡計画に基づき多職種連携でケアを行うことで褥瘡計画の運用と褥瘡の予防ができる。
- 適切な褥瘡予防物品の管理ができることで適正な使用ができ、褥瘡の予防ができる。

<結果>

- 褥瘡計画を作成し多職種連携のもとで適切に運用することで、褥瘡の発生を予防することができた。
- ロホクッション等の褥瘡予防物品の管理について運用方法の見直しを行い適正な管理と適切な使用方法を各フロアで実施できた。

広報委員会

<目標>

広報誌とホームページを通して、ご利用者の明るく楽しい笑顔と各行事、日々の生活の様子をお知らせします。

- ふれあい便り年4回の発行、ブログの更新を通し施設での生活の様子をお伝えすることで、ご家族との良好な関係を築くコミュニケーションのひとつになる。

<結果>

- 便りを計画通り発行し、ねむの丘の楽しく明るい雰囲気を紹介することができ、ブログの更新を月40件程行い、面会が制限されている中でもご利用者の様子を多く紹介することができた。

入退所状況

【従来型】

	1日現在 在所者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規 平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	39人	1人	看取り×1	1人	介護4	95歳	在宅×1
5月	39人	1人	看取り×1	1人	介護5	92歳	老健×1
6月	40人	1人	死亡(病院)×1				
7月	40人	1人	長期入院×1	2人	介護5	85.5歳	老健×1 在宅×1
8月	40人	2人	看取り×1 死亡(病院)×1				
9月	38人			2人	介護4	91.5歳	在宅×2
10月	40人						
11月	40人						
12月	40人						
1月	40人	1人	看取り×1	1人	介護4	92歳	在宅×1
2月	40人						
3月	40人						
合計		7人	看取り×4 死亡(病院)×2 長期入院×1	7人	介護4.4	91.2歳	在宅×5人 老健×2人

※ 退所者：平成28年7名(看取り5名)平成29年9名(看取り5名)平成30年6名(看取り3名)令和元年10名(看取り6名)令和2年12名(看取り6名)令和3年7名(看取り4名)

【ユニット型】

	1日現在 在在所者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規 平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	59人	4人	看取り×4	2人	介護4.5	92.5歳	在宅×2
5月	57人			3人	介護4	84歳	在宅×1 病院×1 グループホーム×1
6月	60人	2人	看取り×1 死亡(病院)×1	2人	介護3.5	84.5歳	在宅×1 有料ホーム×1
7月	60人	2人	看取り×1 死亡(病院)×1	1人	介護5	82歳	病院×1
8月	59人			1人	介護5	90歳	有料ホーム×1
9月	59人	2人	看取り×1 長期入院×1				
10月	58人	1人	退院後在宅介護×1	1人	介護4	93歳	グループホーム×1
11月	58人	3人	看取り×1 死亡(病院)×2	3人	介護4	88.6歳	在宅×2 病院×1
12月	58人	2人	看取り×1 長期入院×1	1人	介護4	91歳	サ高住×1
1月	57人	1人	看取り×1				
2月	56人	1人	死亡(病院)×1	3人	介護4	83.3歳	在宅×3
3月	58人	1人	死亡(病院)×1	2人	介護4.5	98歳	在宅×1 病院×1
合計		19人	看取り×10 死亡(病院)×6 長期入院×2 退院後在宅介護×1	19人	介護4.3	88.7歳	在宅×10人 病院×4人 グループホーム×2人 有料ホーム×2人 サ高住×1

※ 退所者：平成28年17名(看取り2名)平成29年19名(看取り7名)平成30年15名(看取り9名)令和元年24名(看取り18名)令和2年18名(看取り17名)令和3年19名(看取り10名)

※ 入退所者数が増加傾向にあり約3割の入れ替わりとなっている。

※ 入所時の平均年齢も既存91.2歳、ユニット88.7歳と高齢化していることから在所日数も減少すると思われる。

※ 死亡退所者の看取り比率は、ユニットについては6割、既存については6割、前年度よりは減少した。

※ 入退所者の増加及び有料老人ホーム等の民間施設の増加もあり、待機者が減少している。

※ 新規入所者の26人中14名が在宅から入所となっている。

○ 入所者の状況

【従来型】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	男	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.4	4.6	4.6	4.3
	女	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3
平均介護度		4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.3

※ 平均介護度：平成 30 年度介護 4.2、令和元年度 4.4、令和 2 年度 4.3、令和 3 年度 4.3。

【ユニット】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	男	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.7
	女	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1
平均介護度		4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1

※ 平均介護度：平成 30 年度介護 4.1、令和元年 3.9、令和元年 4.3、令和 3 年度 4.1。

○ 入院者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	一日平均
既存	59日	76日	84日	6日	15日	25日	24日	48日	39日	31日	3日	14日	424日	1.2人
ユニット	45日	43日	54日	60日	84日	84日	51日	68日	45日	14日	11日	110日	669日	1.8人
合計	104日	119日	138日	66日	99日	109日	75日	116日	84日	45日	14日	124日	1093日	3.0人
一日平均	3.5人	2.6人	4.6人	2.1人	3.2人	3.6人	2.4人	3.9人	2.7人	1.5人	0.5人	4.0人	入院率 既存：2.9% ユニット：3.0%	

※ 令和 2 年度平均一日平均入院者 2.1 人から 3.0 人と増加。累計入院者 793 人から 1,093 人と 300 人増加。延べ入院者は令和 2 年 34 人から令和 3 年が 49 人、肺炎の診断で入院が令和 2 年 6 人から令和 3 年が 13 人と増加した。

○ 稼働状況(ショートを含めた稼働率)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
既存 延べ	1132人	1156人	1103人	1212人	1198人	1166人	1218人	1156人	1206人	1197人	1118人	1227人	1174人
ユニット 延べ	1708人	1785人	1706人	1784人	1769人	1710人	1759人	1689人	1747人	1754人	1592人	1706人	1726人
ショート 延べ	553人	519人	493人	549人	572人	582人	563人	545人	560人	657人	545人	480人	552人
既存 稼働率	94.33%	93.23%	91.92%	97.74%	96.61%	97.17%	98.23%	96.33%	97.26%	96.53%	99.82%	98.95%	96.51%
ユニット 稼働率	94.89%	95.97%	94.78%	95.91%	95.11%	95.00%	94.57%	93.83%	93.92%	94.30%	94.76%	91.72%	94.56%
ショート 稼働率	92.17%	83.71%	82.17%	88.55%	92.26%	97.00%	90.81%	90.83%	90.32%	105.97%	97.32%	77.42%	90.71%
全体 稼働率	94.25%	93.01%	91.72%	95.30%	95.13%	96.06%	95.16%	94.17%	94.44%	96.99%	96.88%	91.75%	94.57%

※ 入院者の増加、新型コロナウイルス感染拡大に伴うショート利用制限及び入院者の空床利用が進まなかったことから、ショートが 93.6%から 90.7%、ユニット型の稼働率が 97%から 94.5%と低下したこともあり全体の稼働率が 95.8%から 94.5%と減少した。

○ ショート利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	49人	44人	46人	49人	45人	42人	39人	43人	45人	42人	42人	22人	508人
延べ日数	553人	519人	493人	549人	572人	582人	563人	545人	560人	657人	545人	480人	6618人
一日平均	18.4人	16.7人	16.4人	17.7人	18.5人	19.4人	18.2人	18.2人	18.1人	21.2人	19.5人	15.5人	18.1人

※ 新型コロナウイルスに伴う利用控え及び感染予防策としてショートフロア以外のショート利用を制限、3月ショート利用者から新型コロナウイルス感染者が発生したことで、減少した。令和2年度一日平均 18.7人から 18.1人と減少した。

## 4. 在宅介護課

### (1) デイサービスセンター虹の家

#### <目標>

ご利用者が楽しみを持てるような余暇活動、充実した機能訓練、認知症予防を提供し、安心してご利用できるように可能な限り希望にお応えし、選ばれる施設へと成長する。

感染対策・予防を行い安全にサービス・活動の場を提供し、生活意欲の向上に繋がられるよう支援します。

#### <結果>

- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら予防を行い、安全に事業を継続することができた。
- ・行事や余暇活動に関しても、感染予防を行いながら新しい形での行事・レクリエーションを実施し提供する事で、利用者に楽しんで頂くことができた。
- ・家族からの声を聞き洩らさず職員間で周知する事により、ご利用者に対してきめ細やかな支援に繋げることができた。
- ・パンフレットや空き状況等の紙面を作成し、外部居宅へ向けアプローチを行った結果、新規契約が前年に比べ倍増し紹介頂ける新規居宅も増えた結果となった。

### (2) 第二デイサービスセンター虹の家

#### <目標>

- ・ご利用者が住み慣れた地域で継続して暮らし、自立した日常生活が送れるよう個々の心身の状態に応じた機能訓練、余暇活動を充実させ、意欲向上に繋がる支援をします。
- ・感染予防対策に努め、定期的な環境整備、職員研修を実施し、安全・安心なサービスと真心をこめたケアの提供を行い、地域に信頼される施設を目指します。

#### <結果>

- ・新型コロナウイルス感染症の感染対策情報を年間を通してご家族へ発信したことで、信頼関係の構築及び事業運営の継続が図れた。
- ・介護報酬改定に伴う機能訓練の更なる個別化や生活機能の維持・向上を目的とした計画を立案し実施することで、ご利用者が目標をもち、やりがいを感じながら利用をすることができた。
- ・ご利用者の利用時における身体・バイタル変化の情報をご家族、ケアマネージャーと共有することで早期の医療機関への受診や、福祉用具の提案など柔軟なサービス提供が行え、在宅生活継続に寄与することができた。

デイサービスセンター虹の家 利用状況報告（令和三年度）

令和二年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	27	26	26	157	26	25	26	22	24	27	151	308	26
要支援1	4	4	8	13	12	14	55	6	8	12	11	11	17	65	120	10
要支援2	61	57	58	58	47	49	330	54	56	56	45	41	48	300	630	53
要支援延利用人員	65	61	66	71	59	63	385	60	64	68	56	52	65	365	750	63
要支援一日平均	2.5	2.3	2.5	2.6	2.3	2.4	2.5	2.2	2.6	2.6	2.5	2.2	2.4	2.4	2.4	2.4
介護度1	229	219	250	326	319	307	1650	328	289	308	190	216	278	1609	3259	272
介護度2	201	198	204	186	176	153	1118	160	164	157	142	133	150	906	2024	169
介護度3	136	117	129	133	135	114	764	138	119	101	88	93	119	658	1422	119
介護度4	23	17	21	22	10	11	104	12	9	22	20	19	17	99	203	17
介護度5	13	11	11	10	20	18	83	21	12	9	6	10	11	69	152	13
要介護延利用人員	602	562	615	677	660	603	3719	659	593	597	446	471	575	3341	7060	588.3
要介護一日平均	23.2	21.6	23.7	25.1	25.4	23.2	23.7	24.4	23.7	23.0	20.3	19.6	21.3	22.1		22.9
延利用人員数	667	623	681	748	719	666	4104	719	657	665	502	523	640	3706	7810	1562
一日平均	25.7	24.0	26.2	27.7	27.7	25.6	26.1	26.6	26.3	25.6	22.8	21.8	23.7	24.5		25.4
令和三年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	27	26	26	157	26	26	26	24	24	27	153	310	26
要支援1	14	23	10	9	6	9	61	8	8	6	8	11	17	58	119	10
要支援2	48	55	55	57	66	82	363	94	96	90	93	88	101	562	925	77
要支援延利用人員	62	68	65	66	72	91	424	102	104	96	101	99	118	620	1044	87
要支援一日平均	2.4	2.6	2.5	2.4	2.8	3.5	2.7	3.9	4.0	3.7	4.2	4.1	4.4	4.1	3.4	3.4
介護度1	281	261	278	294	303	330	1747	316	327	302	281	276	337	1839	3586	299
介護度2	147	154	149	143	138	140	871	123	122	90	57	78	96	566	1437	120
介護度3	110	92	86	101	76	87	552	54	63	84	70	62	66	399	951	79
介護度4	10	10	21	25	24	22	112	50	53	56	58	55	74	346	458	38
介護度5	8	14	15	14	14	16	81	17	29	21	10	10	0	77	158	13
要介護延利用人員	556	531	549	577	555	595	3363	560	594	553	476	471	573	3227	6590	549.2
要介護一日平均	21.4	20.4	21.1	21.4	21.3	22.9	21.4	21.5	22.8	21.3	19.8	19.6	21.2	21.13		21.3
延利用人員数	618	599	614	643	627	686	3787	662	698	649	577	570	691	3847	7634	1527
一日平均	23.8	23.0	23.6	23.8	24.1	26.4	24.1	25.5	26.8	25.0	24.0	23.8	25.6	25.1		24.6

第二デイサービスセンター虹の家 利用状況報告（令和三年度）

令和二年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	27	26	26	157	27	25	26	24	24	27	153	310	26
要支援1	13	7	7	10	4	10	51	8	8	10	8	8	10	52	103	9
要支援2	50	39	54	53	50	67	313	67	66	61	50	54	56	354	667	56
要支援延利用人員	63	46	61	63	54	77	364	75	74	71	58	62	66	406	770	64
要支援一日平均	2.4	1.8	2.3	2.3	2.1	3.0	2.3	2.8	3.0	2.7	2.4	2.6	2.4	2.7	2.5	2.5
介護度1	176	133	162	169	159	151	950	132	151	137	101	112	117	750	1700	142
介護度2	183	167	174	144	180	176	1024	177	172	178	151	140	173	991	2015	168
介護度3	23	20	49	51	57	50	250	43	44	41	45	46	45	264	514	43
介護度4	38	45	33	40	48	44	248	36	26	31	30	32	35	190	438	37
介護度5	15	15	16	17	17	15	95	16	15	17	6	10	24	88	183	15
要介護延利用人員	367	380	434	421	461	436	2567	404	408	404	333	340	394	2283	4850	404.2
要介護一日平均	16.7	14.6	16.7	15.6	17.7	16.8	16.4	15.0	16.3	15.5	13.9	14.2	14.6	14.9		15.6
延利用人員数	498	426	495	484	515	513	2931	479	482	475	391	402	460	2689	5620	1124
一日平均	19.2	16.4	19.0	17.9	19.8	19.7	18.7	17.7	19.3	18.3	16.3	16.8	17.0	17.6		18.1
令和三年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	27	26	26	157	26	26	26	24	24	27	153	310	26
要支援1	8	8	10	8	8	10	52	8	8	12	14	15	11	68	120	10
要支援2	45	36	51	57	43	42	274	39	41	41	38	32	41	232	506	42
要支援延利用人員	53	44	61	65	51	52	326	47	49	53	52	47	52	300	626	52
要支援一日平均	2.0	1.7	2.3	2.4	2.0	2.0	2.1	1.8	1.9	2.0	2.2	2.0	1.9	2.0	2.0	2.0
介護度1	127	122	116	135	130	139	769	166	166	168	185	177	210	1072	1841	153
介護度2	152	143	163	180	157	155	950	165	143	153	140	123	122	846	1796	150
介護度3	52	48	40	52	48	38	278	38	42	40	34	33	69	256	534	45
介護度4	43	52	51	54	52	59	311	63	69	62	64	60	54	372	683	57
介護度5	14	0	4	8	6	10	42	16	0	0	0	0	0	16	58	5
要介護延利用人員	388	365	374	429	393	401	2350	448	420	423	423	393	455	2562	4912	409.3
要介護一日平均	14.9	14.0	14.4	15.9	15.1	15.4	15.0	17.2	16.2	16.3	17.6	16.4	16.9	16.7		15.8
延利用人員数	441	409	435	494	444	453	2676	495	469	476	475	440	507	2862	5538	1108
一日平均	17.0	15.7	16.7	18.3	17.1	17.4	17.0	19.0	18.0	18.3	19.8	18.3	18.8	18.7		17.9

### (3) 居宅介護支援事業所

#### <目標>

ご利用者、ご家族に信頼して相談いただける存在となれるよう日々努力し、希望する在宅での生活が過ごせるように支援致します。

#### <結果>

- ・ ご利用者の希望、心身の状況、生活環境、ご家族の支援状況等を把握するように努め、ご利用者一人ひとりが望む生活を実現できるように支援を行うことができた。
- ・ ご利用者、ご家族より相談を受けた際には迅速に対応を行うことで信頼関係を構築することができた。
- ・ ご利用者の入退や退院の時期にはなるべく病院にうかがうように務め、病院関係者と連携を行いご利用者、ご家族が安心して在宅生活を過ごせるように退院支援を行うことができた。

#### 主な活動内容

- ① サービス計画書の作成
- ② 自宅訪問による相談
- ③ サービス担当者会議の開催  
(介護保険証の更新時又はサービス内容の変更時)
- ④ モニタリング (評価)
- ⑤ 各居宅サービス事業所、行政機関、主治医 (医療機関) との連携
- ⑥ 各種申請の代行手続き
  - ・ 介護保険要介護申請代行
- ⑦ 自己研鑽 (事業所内研修毎週 1 回、外部研修)
- ⑧ 他法人共同事例検討会の開催 (1 回開催)
- ⑨ 書類の整備

令和 3 年度	給付管理票提出数	1,519 件	(介護給付)
		399 件	(予防給付)
令和 2 年度	給付管理票提出数	1,583 件	(介護給付)
		327 件	(予防給付)

令和2年度居宅介護支援事業所 要介護度別担当者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護1	45	46	50	48	47	48	47	47	49	45	45	48	565	36%
要介護2	47	47	45	43	41	39	43	41	41	42	39	33	501	32%
要介護3	24	21	20	21	22	22	23	23	22	23	24	26	271	17%
要介護4	14	16	17	14	13	17	14	14	15	15	18	17	184	12%
要介護5	5	5	5	5	7	7	5	5	4	4	5	5	62	4%
要介護累計	135	135	137	131	130	133	132	130	131	129	131	129	1583	
要支援1	8	7	8	9	9	8	8	8	9	9	10	10	103	31%
要支援2	17	17	17	17	18	20	20	19	19	20	19	18	221	68%
総合事業対象者	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1%
要支援累計	26	25	26	26	27	28	28	27	28	29	29	28	327	

令和3年度居宅介護支援事業所 要介護度別担当者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護1	49	52	53	52	49	51	50	51	56	58	58	55	634	42%
要介護2	33	33	34	32	29	28	30	29	30	28	28	27	361	24%
要介護3	26	28	27	23	24	26	23	20	20	17	15	15	264	17%
要介護4	18	19	16	17	14	15	16	14	14	17	18	17	195	13%
要介護5	5	4	6	6	6	6	5	5	5	5	6	6	65	4%
要介護累計	131	136	136	130	122	126	124	119	125	125	125	120	1519	
要支援1	10	10	9	9	8	11	13	13	13	15	15	16	142	36%
要支援2	17	16	18	18	20	19	22	23	22	23	23	24	245	61%
総合事業対象者	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	2	3	12	3%
要支援累計	27	26	27	27	28	31	36	37	37	40	40	43	399	

#### (4) ヘルパーステーションねむの丘

##### <目標>

安心して自分らしく生活が継続できるよう、自立支援と生活の質の向上を念頭に情報共有し支援をする。

##### <結果>

- サービス方針とご利用者の意向にズレが生じないよう、1人ひとりの心に寄り添い環境を整えることができた。
- 研修や会議を定期的に行うことにより、ご利用者に対する共通の理解・支援の統一性や連続性また情報共有し支援を行う事ができた。

#### 令和2年度要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	3	2	2	2	2	2	3	4	5	4	4	4	37
要支援2	2	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3	4	40
要介護1	2	2	2	2	3	4	5	6	5	6	7	6	50
要介護2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	1	2	1	16
要介護3	5	5	5	5	5	6	6	6	7	6	8	8	72
要介護4	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	1	9
要介護5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総合計(人)	14	15	14	14	14	18	21	23	22	21	25	24	225

#### 令和3年度要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	4	4	5	5	5	6	6	6	6	7	6	6	66
要支援2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	29
要介護1	8	7	6	5	4	3	3	3	3	4	3	4	53
要介護2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	2	2	14
要介護3	7	7	7	7	7	6	6	5	4	4	3	3	66
要介護4	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
要介護5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
総合計(人)	17	17	16	14	13	11	11	10	9	11	9	10	242

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和2年度	37	40	50	16	72	9	1	225
令和3年度	66	29	53	14	66	14	0	242
比較増減	+29	-11	+3	-2	-6	+5	-1	+17

訪問介護事業所 型別年間サービス提供数

訪問 介護	令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
	件数	11名	14名	12名	12名	12名	15名	18名	19名	15名	16名	18名	16名	178名	
	回数	161	187	175	178	166	173	190	210	194	183	221	247	2,285	
	(身体型)	98	101	103	110	105	104	123	120	112	100	110	123	1,309	57%
	(身体生活)	30	37	31	30	39	39	51	62	60	56	66	73	574	25%
	(生活援助)	33	35	41	38	22	30	46	28	22	27	45	51	418	18%
	令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
	件数	17名	17名	16名	14名	13名	11名	11名	10名	9名	11名	9名	10名	148名	
	回数	229	200	209	219	191	154	146	137	133	123	116	144	2,001	
	(身体型)	114	111	123	128	116	95	82	79	78	73	60	83	1,142	57%
	(身体生活)	67	55	53	50	42	36	39	36	31	36	32	34	511	26%
	(生活援助)	48	34	33	41	33	23	25	22	24	14	24	27	348	17%

## (5) 渋川市北橋地域包括支援センター

### <目標>

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができるように、介護予防の視点を持ち、普及、啓発活動を行い、地域の高齢者の生活を総合的に支えていく拠点としての機能強化を目指します。

### <結果>

#### (1) 総合支援事業

高齢者の各種相談に幅広く総合的に対応し、ひとり暮らし高齢者に対しては積極的に個別訪問を実施し高齢者の困りごとに対して、必要なサービスや制度を紹介し、解決に導きくことができた。

#### (2) 権利擁護事業

必要に応じて関係機関と連携しながら、高齢者の方が安心して生活できるように、様々な権利を守り、成年後見制度の活用、虐待被害の対応、防止、早期発見に努めることができた。

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

地域の医療機関や介護事業所を把握し、連携協力体制を構築することで、圏域内で暮らす高齢者の課題解決や調整を行うことができた。

#### (4) 介護予防ケアマネジメント事業

総合事業対象者の趣旨に沿って、要支援認定者に係る適切なマネジメント業務を行い、身体状況の悪化を防ぎ、自立した生活が継続できるように介護予防を目的とした支援を行うことができた。

## 令和3年度 渋川市北橘地域包括支援センター事業実施報告書

区分		当年度累計
開所日数		259日
基本情報作成数		20
相談実績		2,149
相談方法	電話（延べ）	1,313
	来所（延べ）	169
	訪問（延べ）	475
	その他（延べ）	192
相談内容が主に認知症に係る件数 （延べ）	65歳以上	35
	65歳未満	0
実態把握（一人暮らし高齢者）		56
権利擁護に関する相談件数		51
相談方法	成年後見（延べ）	6
	措置の支援（延べ）	0
	地域福祉権利擁護（延べ）	2
	高齢者虐待（延べ）	42
	消費者被害（延べ）	1
ケアマネジメント支援（プランチェック含）		94
介護予防支援	委託	274
	包括	133
介護予防ケアマネジメント	委託	257
	包括	96
国保連請求数		760
国保連請求数（返戻・修正・過誤）		3
基本チェックリスト（総合事業）		0
管理者会議（全体会議）		12
社会福祉士定例会		11
保健師定例会		2
主任ケアマネ定例会		12
民生委員連絡会議		9
生活支援体制整備事業（協議体）		6
家族介護教室・介護予防教室（主催）		2
各地域サロン・高齢福祉課各教室		2
地域ケア会議（個別）・コア会議		8
困難事例勉強会		3
CM研修会		2
外部研修会		6
認知症施策（見守りあんしん・学びの講座）		1